



報道関係各位

三菱地所株式会社  
下地島エアポートマネジメント株式会社

## 沖縄県・下地島空港に「みやこ下地島空港ターミナル」が開業

～路線誘致による交流人口拡大、旅客ターミナル機能にとどまらない地域活性への貢献を目指します～

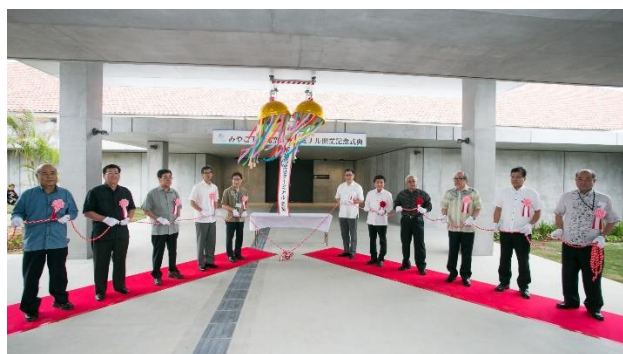
宮古島市伊良部地区の「みやこ下地島空港ターミナル」が、3月30日に開業し、運営会社である下地島エアポートマネジメント株式会社（以下 SAMCO）が開業記念式典を執り行いました。同施設は三菱地所株式会社（以下、三菱地所）が「下地島空港における国際線等旅客施設整備・運営及びプライベート機受入事業」として整備を進め、3月11日に竣工したものです。

式典には地元の関係者をはじめ、宮古島市、沖縄県の関係者が列席し、ターミナルの運営会社である SAMCO の代表取締役社長 伴野賢太郎が開業挨拶を述べた後、新垣 健一 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策統括監、下地敏彦 宮古島市長より祝辞を頂戴しました。

また、開業記念式典後には同日より定期便就航を開始するジェットスター・ジャパンによる初便の就航式典が執り行われ、成田空港より初便で到着したお客様の歓迎、および下地島空港より初便で出発のお客様の見送り等が、同社をはじめ宮古島市、宮古島観光協会等の関係各所により行われました。

本施設の開業に合わせ、三菱地所と SAMCO は、沖縄県、宮古島市をはじめ、沖縄観光コンベンションビューローや宮古島観光協会とも連携し、官民一体で路線の誘致活動を行ってきました。開業日より就航したジェットスター・ジャパンによる成田＝下地島路線のほか、同社の関空＝下地島路線、さらに宮古圏域では初めてとなる国際線の定期便として、香港エクスプレスによる香港＝下地島路線の就航が決定しています。今後も各所との協働のもと路線誘致活動を進め、2021年度までに年間利用客数 30 万人を目指し、内外の交流人口拡大を図っていきます。

また、同ターミナルには、地元食材を使用したメニューを提供するカフェやレストラン、および地元の生産者やメーカーから仕入れた商品を多く取り扱うお土産店を、保安検査の前と後の両方のエリアに設置。飛行機を利用しない地元の方や観光客にも立ち寄っていただけるようにすることで、地元の特産品などの情報を発信する機会を広げ、空港ターミナル機能にとどまらない地域活性への貢献も目指します。



開業記念くす玉割りの様子



初便到着時のウォーターアーチ

### ■下地島エアポートマネジメント株式会社の概要

商号：下地島エアポートマネジメント株式会社

（英文名称：Shimajiri Airport Management Co., Ltd.）

本店所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地

事業目的：空港ビルの管理運営、飲食物・物品の販売 等

資本金：3 億円

株主：三菱地所株式会社、株式会社國場組、双日株式会社

代表者：代表取締役社長 伴野 賢太郎

## ■「みやこ下地島空港ターミナル」施設概要

開業日：2019年3月30日

所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727

敷地面積：32,586 m<sup>2</sup>

延床面積：12,027 m<sup>2</sup>

規模・構造：RC造 一部鉄骨造及び木造（CLT）

地下1階地上2階

（旅客エリアは地上1階のみ）

施工者：株式会社國場組・株式会社大米建設共同事業体

CLT工事 山佐木材株式会社

設計：株式会社日建設計

運営：下地島エアポートマネジメント株式会社

主要施設：チェックインカウンター数 12 箇所、搭乗ゲート 3 箇所、  
到着ロビー 国際線・国内線各 1 箇所、飲食店 2 店舗、物販店 3 店舗（免税店含む）、  
レンタカー受付カウンター、レンタカー受け渡し場・洗車場、ATM

## ■本事業および「みやこ下地島空港ターミナル」の特長

### ①沖縄県・宮古諸島を国際的なリゾートへ

国内屈指のリゾート地として人気の高い宮古諸島に、国内線機能を拡充するとともに国際線機能を整備し、国際的なリゾート地としての更なる成長に貢献。パイロット訓練飛行場としての機能のみならず、一般旅客が利用できる空港として再出発を図りました。

### ②「空港から、リゾート、はじまる。」をコンセプトとした空間づくり

キーコンセプトを「空港から、リゾート、はじまる。」と掲げ、空港利用者や航空会社の視点に立った施設づくりに取り組んでいます。豊かな緑や自然の光を取り込み、空港に到着した瞬間から、宮古諸島を離れる航空機へ搭乗する直前まで、リゾート体験を感じてもらえるよう、利用者がくつろげる空間を目指しました。国際線を受け入れる専用施設を設け、スムーズな入国・出国動線を確保する等、利用者の動線を意識した設計となっており、使い勝手の良さを追求しています。



みやこ下地島空港ターミナルのゲート



屋根構造材に CLT（直交集成版）を使用したチェックインロビー



搭乗待合室に隣接する水盤



国内・国際線共用搭乗待合室

## ■「みやこ下地島空港ターミナル」の飲食・物販施設について

旅の始まりから終わりまで、宮古諸島の豊かな自然に育まれた野菜、果物、肉類、魚介類などの食の魅力を伝えられるよう、地元食材を使った飲食を提供するカフェ等をチェックイン棟およびラウンジ棟の両方に設置しました。チェックイン棟のカフェは、飛行機を利用しない時でも気軽に立ち寄っていただけます。なお、これら飲食施設は、宮古島でのホテル運営を通じて地元生産者や地域と繋がり、地元食材を使用したメニュー考案の豊富な実績を持つ沖縄 UDS に運営を委託することで、生産者や島の魅力を伝え、地元の食文化を発信する場として地域活性化への貢献も目指します。飲食でも物販でも「メイド・イン・宮古」を提供します。

### 〈飲食〉

#### ・ coral port Grab&Go

飛行機を利用しない時でも立ち寄れるチェックイン棟の飲食施設です。サンドイッチ等の軽食、アイス等のデザート、アルコール、ソフトドリンクを提供します。地域食材を使用したメニューを揃えました。店内、テイクアウトどちらにも対応します。

#### ・ coral port LOUNGE Café&Bar

#### ・ coral port LOUNGE the Kitchen

上記2店とも、国内・国際線共用の搭乗待合室のあるラウンジ棟の飲食施設です。地域食材を使用したそば類、ワンプレートメニュー、丼物等の定食やおつまみ、アルコール、ソフトドリンクを用意しています。

### 〈物販〉

#### ・ coral port the Shop Landside 店

飛行機を利用しない時でも立ち寄れるチェックイン棟の物販施設です。宮古諸島ならではのお土産を取りそろえ、食品、酒類、雑貨を販売します。

#### ・ coral port the Shop Airside 店

国内・国際線共用の搭乗待合室のあるラウンジ棟の物販施設です。Landside 店同様、宮古諸島ならではのお土産物の他、雑貨、雑誌などを取り扱います。

#### ・ coral port Duty Free Shop

国際線搭乗口付近にある免税店です。タバコ・酒類を含む免税品、日本のお土産を取り扱います。



Coral port the Shop Landside 店 店内



ラウンジ棟にある飲食施設 Coral port LOUNGE

## ■「CLT\*1の活用」・「ネット・ゼロ・エネルギービル\*2」、2つのエコへの取り組み

本施設では、空港ターミナルとして全国で初めて、CLT（直交集成板）を屋根の構造材に採用。また、同様に空港ターミナルとして全国初となる「ネット・ゼロ・エネルギービル」の取り組みを実施しています。2つのエコへの取り組みで「エコアイランド宮古島」に相応しい施設を目指します。

### <CLT（直交集成板）の活用>

本施設では、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネル「CLT」を、空港ターミナルとして全国で初めて、屋根の構造材に採用します。本施設は、1棟あたりのCLT使用量（約1530 m<sup>3</sup>）で日本一の施設となる予定です（日本CLT協会調べ）。CLTは1995年頃からオーストリアを中心として発展してきた新しい構造材で、今後日本での普及が見込まれます。CLTの利用に対しては、林野庁の平成28年度CLTを活用した建築物等実証事業及び森林・林業再生基盤交付金制度を活用。沖縄県が定める地域材（沖縄県内で流通する県産又は九州産材等）を使用して、地域の森林・林業再生へ貢献します。

## <「ネット・ゼロ・エネルギービル (ZEB)」の取り組み>

空港ターミナルビルとして全国初の「ネット・ゼロ・エネルギービル」。国が基準とするビルと比較して、68%一次エネルギー消費を削減する計画です。具体的には深い庇による日射遮蔽、大開口による積極的な自然換気による熱負荷の削減のほか、気化熱空調システムなどを採用し、経済産業省 資源エネルギー庁の「ZEB ロードマップ」においては ZEB Ready ランク、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）では最高ランクの認定を受けています。ZEB の実現に対しては、経済産業省の ZEB 実証事業制度を活用しています。



※1 CLT…Cross Laminated Timber の略。1995年頃からオーストリアを中心として発展してきた新しい構造材で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した大判パネルのこと。

※2 ネット・ゼロ・エネルギービル (ZEB) …先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物

## ■下地島空港における国際線等旅客施設整備・運営及びプライベート機受入事業について

沖縄県が推進する下地島空港および周辺用地の利活用事業の一つとして、沖縄県・下地島空港において旅客ターミナル施設を整備し、国際線・国内線旅客の取扱い、並びにプライベート機等の受け入れを行うものです。2015年12月、沖縄県へ事業実施についての提案を行い、2017年3月に沖縄県と基本協定を締結しました。旅客ターミナル施設である「みやこ下地島空港ターミナル」は、2017年10月に着工、2019年3月11日に竣工。3月30日に開業いたしました。

### <事業経緯>

- 2015年3月 沖縄県の下地島空港及び周辺用地の利活用事業の候補事業者に選定
- 2015年12月 沖縄県へ実施事業を提案
- 2017年3月 沖縄県と基本合意書を締結
- 2017年10月 下地島空港旅客ターミナル施設新築工事に着工
- 2018年1月 下地島エアポートマネジメント株式会社 (SAMCO) を設立
- 2018年7月 SAMCO に株式会社國場組、双日株式会社が出資
- 2018年10月 下地島空港旅客ターミナル施設の名称を「みやこ下地島空港ターミナル」に決定  
同ターミナルの飲食施設の運営者に沖縄 UDS 株式会社を選定  
ジェットスター・ジャパン 成田=下地島路線開設を公表
- 2019年2月 香港エクスプレス 香港=下地島路線開設を公表
- 2019年3月 ジェットスター・ジャパン 関西=下地島路線開設を公表  
みやこ下地島空港ターミナル竣工、3月30日開業

以上